

令和2年度 第2回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

開催日及び場所	令和2年10月30日 県庁11階第1・2会議室	
出席者氏名	島袋秀勝 橋本俊作 上原道子 三刀屋淳 武元奈美 友利清和	
審議対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和2年7月31日	
再苦情処理件数	件数 0件	
入札審議内容及び件数	建設工事	建設工事に係る測量、調査、設計及び工事監理業務
	総件数 179件	総件数 150件
①一般競争入札	87件	17件
②総合評価	45件	39件
③指名競争入札	18件	89件
④随意契約	29件	5件
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり (総質問件数 9件)	別紙のとおり
委員会による意見の具申の内容	なし	
その他の意見	特になし	

※抽出案件:別紙参照

(資料3)

令和2年度第2回 沖縄県公共工事入札契約適正化委員会  
抽出事案一覧表

	工事名	工事種別	入札方式	入札(開札)日	入札(見積)参加者数	予定価格(税込・円)	調査基準価格・最低制限価格(税込・円)	落札価格(税込・円)	落札者	落札率(%)	担当部署
①	コンクリートブロック塀改修工事(その6)	建築一式工事	一般競争入札	R2.6.30	1	16,505,500	15,515,000	16,500,000	(有)豊見里組	99.9	警察本部 会計課
②	北大東港(西地区)岸壁(-5.5m)工事(R2)	土木一式工事	一般競争入札	R2.7.3	1	97,130,000	88,051,693	96,800,000	(株)与儀組	99.6	土木建築部 南部土木事務所
③	沖縄県立芸術大学奏楽堂舞台機構設備改修工事(第2期)	機械器具設置工事	一般競争入札	R2.4.9	1	230,450,000	220,984,611	227,150,000	尚平工業(株)・沖縄パナソニック特機(株)特定建設工事共同企業体	98.5	土木建築部 施設建築課
④	病害虫防除技術センター蛹化室No2コンベヤ改修工事	機械器具設置工事	一般競争入札	R2.6.17	1	83,226,000	78,638,203	82,500,000	大成設備工業(株)	99.1	土木建築部 施設建築課
⑤	那覇浄化センターガスコンプレッサー機械設備工事(その2)M20	機械器具設置工事	総合評価方式	R2.4.9	1	57,431,000	51,195,100	56,738,000	(株)サンライト	98.7	土木建築部 下水道事務所
⑥	令和2年度県立学校ブロック塀等改修工事(宮古地区2)	建築一式工事	随意契約	R2.4.24	3	30,745,000	—	30,690,000	(資)共和測建	99.8	教育庁 施設課

	業務名	業務種別	入札方式	入札(開札)日	入札(見積)参加者数	予定価格(税込・円)	調査基準価格・最低制限価格(税込・円)	落札価格(税込・円)	落札者	落札率(%)	担当部署
⑦	八重山管内漁港現場技術業務(R2)	土木関係コンサル	総合評価方式	R2.4.23	3	17,065,400	13,691,040	16,940,000	(株)大栄コンサルタント	99.2	農林水産部 八重山農林水産振興センター

※ 今回の抽出事案件数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、案件数を絞り込み7件とした。

## 令和2年度第2回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

意見・質問	回答
<p><b>Q 1</b>            案件①「コンクリートブロック塀改修工事（その6）」について。入札参加者数が1というの少ない気がする。参加状況はどうだったのか。</p>	<p><b>A 1</b>            参加予定は2者であったが、実際に参加したのが1者という結果であった。</p>
<p><b>Q 2</b>            案件①について。今回は建築一式工事での発注であるが、建築一式工事での発注とコンクリートブロック関係の専門工事での発注（とび・土工・コンクリート工事、タイル・レンガ・ブロック工事）のときの違いはどのように考えているか。            技術者の資格については、入札参加の要件では1級又は2級建築士、1級又は2級建築施工管理技士となっているが、受注者ではどういう技術者か。</p>	<p><b>A 2</b>            今回建築一式工事での発注した考え方は、建物の外構工事の一環として、その中のブロック塀の改修ということで建築一式工事での発注とした。            受注業者は1級建築施工管理技士の資格をもっている。</p>
<p><b>Q 3</b>            案件②「北大東港（西地区）岸壁（-5.5m）工事（R2）」について。            複数の入札参加者がいる場合はそこに競争原理が働き、落札率も下がってくると思うが、今回のように参加が1者という少ない中での入札では、どうなのか。</p>	<p><b>A 3</b>            南部土木事務所においては、離島の港湾工事、あるいは維持管理の小さな工事が毎年不調となっている。南北大東島の場合、自然環境が厳しいため、非常に不調が多く、本工事と関連する別工事でも不調に終わったものがある。            南北大東島の実情としては、入札に参加する業者が限られているところがあるが、発注者としては、港湾に関しては一般競争入札を行い、積算の中でもしっかりと対応できるようにし、他社が参加しやすい環境作りに努めているところである。</p>

**Q 4**

案件①について。開札調書で2回目まで入札を行っているが、日時はどうなっているか。

**Q 5**

案件③「沖縄県立芸術大学奏楽堂舞台機構設備改修工事（第2期）」について。

図面に載っている滑車などが2億円するということか。

2期工事ということは、その前に1期工事があって、それに関連して入札参加業者が1者ということか。

**Q 6**

案件⑥「令和2年度県立学校ブロック塀等改修工事（宮古地区2）」について。

随意契約の相手方3者で見積合わせを行なっているが、3者を選んだのはどういう基準か。宮古島内にはもっと業者があると思うが。

随意契約で3者のみを選んだ理由をもっと詳しく書いてほしい。

**Q 7**

案件⑤「那覇浄化センターガスコンプレッサー機械設備工事（その2）M20」について。

**A 4**

電子入札で行っており、1回目の入札は6月29日に入札、翌6月30日に開札し、予定価格超過で落札しなかったため2回目の入札を同日に時間をずらして設定し行った。

**A 5**

図面に載っている滑車、バトン、照明を吊るバーや駆動装置、制御装置などとなっている。駆動装置の数量がかなり多く、制御装置も結構な値段がするので、適切な金額と考えている。

本件は1期工事と同じ業者が受注している。

舞台機構装置は専門業者があり、自ずと出来るところが限られてくると考えられる。

**A 6**

工事箇所が宮古島であったため、宮古に事務所がある業者を選定した。

随意契約は2者以上から見積を徴取することになっており、今回は3者とした。今後わかりやすい方法を検討していきたい。

**A 7**

総合評価方式による一般競争入札では入札参加資格と総合評価の審査がある。

総合評価は、より良い技術者、より良い経験を持っている業者を選定しようという位置づけで行うもので

入札参加者が1者で事後審査となっているが、1者の場合、事後審査で落札できない場合もあるのか。

**Q 8**

案件⑥について。

1回目の見積受付で予定価格超過となり、参加3者に対して新たに見積を求めているが、時間的にはどうなっているか。

**Q 9**

案件⑥について。

危険性があるため早急な工事が必要とのことでの随意契約であるが、着工と完成はいつか。

あり、点数が低いことで落札できないことはないが、入札参加資格確認申請書及び確認資料での記載漏れ等があった場合は、入札無効となる。

**A 8**

4月24日の午前10時頃第1回の開札を行い、予定価格超過のため2回目の受付時間を同日午前11時20分に設定し開札をした。

**A 9**

令和2年5月1日着工、7月29日完成である。

以上